



子どもの衣服に関するアンケート

母親 48 人からのメッセージ



～ 今の時代、子どもにとって、よい衣服とは何だろう？

子どもの成長にともなう変化 子どもとの生活の中で思うこと ～

今回のアンケートは、幼児から中学生までの子どもがいる家庭を対象としました。各質問に答えながら、母親が日ごろ気を付けていることや工夫していること、またこのアンケートを通して気づいたことなども書いてもらいました。(回答は子ども一人ずつで、71人の子どもたちの様子を知ることが出来ました。)

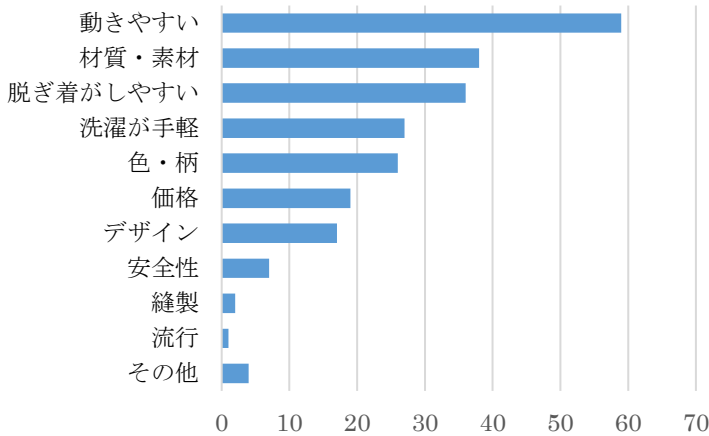
アンケートに答えてくださった 48 人の母親たちを下の子の年齢で分けてみると・・・

- ・未就学児の母親 10 人(下の子が未就学児 5 人、未就学児のみ 5 人)
- ・小学生の “ 32 人(“ 小学生 10 人、小学生のみ 22 人)
- ・中学生の “ 6 人



まず、質問ごとに回答数を集計し、グラフにしてみました。(どの質問も複数回答可)

①洋服を選ぶ時に重視すること



動き回ることの多い子どもたちにとって何より大切なのは、動きやすさ、そして材質・素材や脱ぎ着のしやすさと続きます。遊びや勉強に集中するためにも子どもの動きにそった服、心も体も自由に働かせることのできる、子ども自身の着心地の良さが重視されていることがわかります。

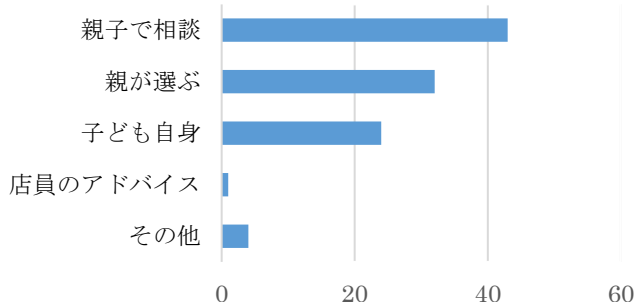
次に洗濯が手軽にという母親自身の事情が上位にきていることに納得、アイロンがかけやすいものを選ぶという人もあります。

高学年になると、体の成長に伴う悩みが目立ちます。成長に合わせて重視することも複雑になってくるようです。

☆ お母さん達のコメントより

- *安価だからと買わない。ほんとうに気に入ったもの、素材を重視。人に優しい服は環境にも優しいです。(11才女子)
- *フリースの素材が海に流れて環境に良くないことを子どもに説明。衣服による環境への影響も気になる(7才女子)
- *遊ぶ時は、事故に繋がる可能性のあるものは避けるようにしています。(4才女子)
- *体の線が出ない、透けないなど、デザインや素材には気を付けている。(12才女子)
- *子どもが気に入るもの、特に下の子はおさがりが気になる時期、気持ちを尊重するようにしている。(10才女子)

②選ぶときは主に誰の意見ですか

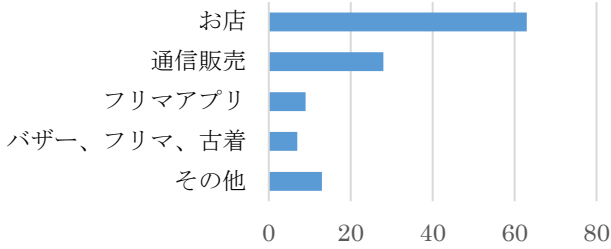


全体では親子で相談、親が選ぶが多いが、小学生になると、子どももだんだん自分の意見を持つようになり、小学 5～6 年から中学生になると子ども自身が選び、親は見守りの立場になることが多くなっています。

親子で選びながらも、子どもの趣味は親の趣味とは違くと、互いの妥協点を探る感じという人もあり、どこまで子どもに任せればよいかの悩みも多いようです。

中学 3 年生になると衣服の予算から購入まで、任せてみたという人もありました。

③洋服は主にどこで購入しますか



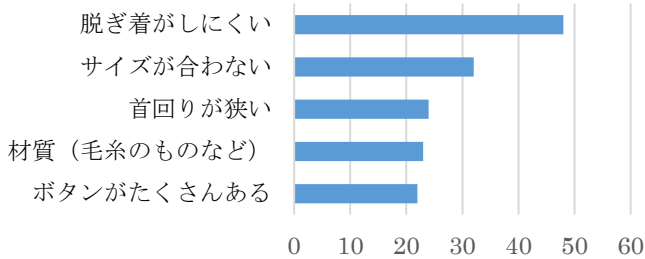
10年前より通信販売が多くなっていました。

すぐにサイズアウトするので、セールなどで購入し高価なものはあまり買わない、ほぼお下がり、その中から、気に入ったものを選んでいて、購入は下着くらいという人も。

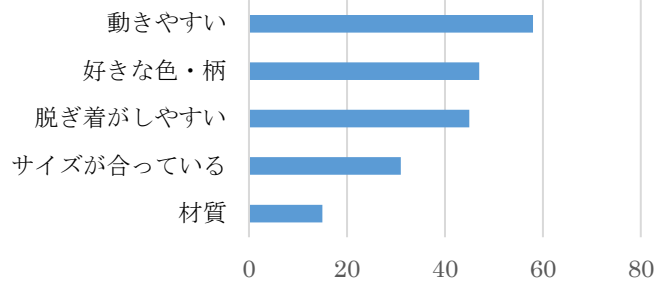
サイズ、種類が豊富なカタログ通信販売でまとめて買うという人もありました。



④着たがらないもの、着せる時に不便に思ったもの

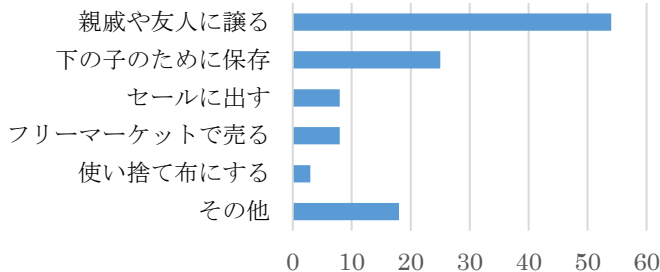


⑤お気に入りの服はどんなものですか



④と⑤は、上位5位までを見ました。反比例のように、着たがらないものはお気に入りではない、ということがわかります。体育のある日は、ボタンのあるもの、背中ボタンや後ファスナー選ばないというコメントがあり、学校生活でどんな服を着るかが重要な要素になっているようです。

⑥サイズが小さくなったりして着なくなったものをどうしていますか



親戚や友人に譲る人が多いが、コロナ禍で、譲り合う機会が激減してしまったという意見に納得。

沢山おさがりをもらったり、次の子のために取って置いたり、その整理に頭を悩ませている様子もうかがえます。

定期的にも古着回収、リサイクルショップへ出す、3R事業に使ってもらう、メルカリに出す、フリーマーケットで売るという人もあります。

最後まで服の命を大切にしたいですね。

☆ お母さんのコメントより

- *自分で畳んでしまえるように小さいころからお手伝いをさせました。(14才男子)
- *姉妹でも好みや似合うものが違う一方で、姉妹お揃いのものも好きです。今のところ、娘の選ぶものは親としても好ましいので安心しているが、いずれ変わっていくのかなあとドキドキしています。(15才女子)
- *穴の開いたズボンの膝部分にワッペンを貼って隠す方法や、ゴム通しなど、簡単な修繕も少しずつ伝えていますが、身につくまでには時間が必要ですね。(10才男子)
- *「数が多いと管理が大変、服の上下、下着、靴下に至るまで3枚以上は買わないで！」と言われていました。(7才男子)

48 家庭の親子の様子を思い浮かべながら、興味深く読ませていただきました。小学生になると、友達が着ているものを欲しがったりすることもあるが、それが本当に必要なものか子どもと一緒に考え合う親、洋服購入の際、価格の上限と時間制限を設け、ゲーム感覚で、子ども自身に選ばせている親など、親子のかかわり方も様々で、子どもの希望と親の思いの一致点を何とか見つけようとしていることがうかがえました。

当然のこととはいえ、改めて、子ども一人一人の成長を大切に考えたい、その成長に合った衣服を選びながら、毎日を気持ちよく過ごせるようにと思いました。